

# 本のワークショップ

文庫本でプラ・ラポルテ製本とソフトケース

令和3年9月18日(土)・19日(日)  
13:00~16:00

2日間で仕上げます!



本のワークショップは、リピーターも多い人気のワークショップです。造本作家を講師に招き、初めての方でも本格的な手製本を体験することができます。

今回は、大切にしたい文庫本をプラ・ラポルテ製本で装い、出来上がった本に合わせて保護カバーと箱型のソフトケースを作ります。元の文庫本にかかっているカバーも貼り込んで残しておけます。お気に入りの一冊をゆっくり丁寧に仕上げてください。

(プラ・ラポルテ製本 [plats rapportés] は、背の表装材を先に本体につけてから、別に作成した平表紙を後からつける製本方法です。)

# 本のワークショップ

9月18日(土)・19日(日) 13:00~16:00 (受付 12:30~)

※2日間かけて仕上げる内容です。2日間参加可能な方が対象です。



〈会場〉 さいたま市 浦和コミュニティセンター 第13集会室(浦和パルコ・コムナーレ10階)  
〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11番1号

〈定員〉 20名(中学生以上)

〈材料費〉 1,500円 ※9月18日(土)に会場受付にてお支払いください。

〈持ち物〉 文庫本(高さ160mm、厚み30mm以内)

## 〈申込み方法〉

8月20日(金)(必着)で、氏名(ふりがな)電話番号を明記の上、往復はがきで「本のワークショップ係」宛、または「インターネット(さいたま市生涯学習情報システム)」でお申し込みください。1人単位で受付けます(1枚の用紙で複数人数の申し込みはできません)。定員を超えた場合は抽選とし、結果は、往復はがきでお申し込みの方には返信用はがき、インターネットでお申し込みの方にはメールで8月27日(金)までにお知らせいたします。

## 〈講師略歴〉

藤井敬子(版画・造本作家)

京都市立芸術大学で日本画、版画を学ぶ。

1998年 イタリア国際製本展「125人のマエストリ」に選出

1999年 版画製本工房を開設、ルリユールの受注制作と製本指導をはじめ。

第5回バスク国際製本ビエンナーレエドモンド・ロスタン美術館賞受賞

1999年 東京製本倶楽部を設立、運営に携わる。

2000年 エストニア国際製本展「金の本」賞受賞

2002年 イタリア国際製本展「100人のマエストリ」に選出

2005年、2015年、2020年 エストニア国際製本展 premium 賞受賞

2013年、2017年イギリスDB国際展 Distinguished Awards 受賞

2015年 本の修復工房 ReficoLibros を設立、運営に携わる。

2017年 「コレクション交流展 Musubu 本とアート:東京-カリフォルニア-うらわ」に出品。

大学、美術館、NHKなどで製本やブックアートの講座講師。個展、グループ展多数。

うらわ美術館収蔵作家。(《Trio》1997年、《RED あか》1997年)

〈アシスタント〉 伊東陽子

昨年度の様子

## 〈問い合わせ〉

うらわ美術館

〒330-0062

さいたま市浦和区仲町2-5-1

浦和センチュリーシティ3F

TEL 048-827-3215

FAX 048-834-4327

<https://www.city.saitama.jp/urawa-art-museum/>



このチラシは4,000部作成し、1枚当たりの作成費用は、4円(概算)です。